

# 館内泊

1 ねらい 集団宿泊体験を通して規則正しい生活習慣を身につけ、仲間との団結力を高める。

## 2 宿泊部屋

< 1 F >

種類	部屋名	定員
和洋室	たけとり	8名
洋室	あかおに	16名
洋室	てんぐ	16名
洋室	こぶとり	16名
洋室	さるかに	16名
和室	リーダー室1	2名

< 2 F >

種類	部屋名	定員
洋室	まつかさ	16名
洋室	かやのみ	16名
洋室	いがぐり	16名
洋室	どんぐり	16名
和室	吾妻	14名
和室	眺山	14名
和室	葉山	14名
和室	朝日	14名
和室	リーダー室2	2名
和室	リーダー室3	4名

## 3 対象 幼児から一般まで

※施設運営上、少人数の場合は食事やお風呂の提供ができない場合もございますのでご承知おきください。また、事前に問い合わせのうえ、宿泊の確認をお願いします。

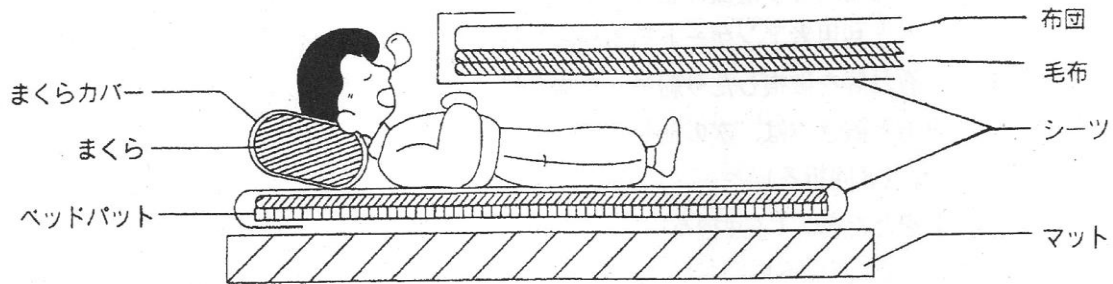
## 4 館内泊の留意点

- ◆ベッドメイキングは、利用者各自で行っていただきます。ベッドメイキングの仕方については、所員からの説明の時間を設定するか、事前にホームページ内の研修動画をご覧ください。
- ◆寝具の片付けも利用者が自分で行ってください。寝具のたたみ方に気をつけ、元と同じように整理整頓をお願いします。
- ◆退室前には宿泊室内の清掃を必ず行ってください。特にベッドの下部にほこりがたまりますので、気をつけてください。清掃後に研修担当が点検させていただきます。
- ◆清掃用具の場所は室内に表示されています。使い終わったら元と同じように片付けてください。
- ◆原則としてごみはお持ち帰りをお願いします。特に、缶、ビンやペットボトル等の不燃ごみはごみ箱に捨てないでください。
- ◆宿泊部屋にのみごみ箱を設置しております。ごみ箱のごみは、清掃時に各団体で持参した袋にまとめ、ゴミステーションに運んでください。
- ◆リーダー室以外の宿泊部屋には、コンセントはありません。
- ◆携帯電話はほとんどの場所につながりますが、感度の悪い場所もありますのでご注意ください。
- ◆非常時の避難経路を必ず確認してください。なお、火災等により避難の必要が生じた場合は、緊急非常放送によりその旨を連絡します。落ち着いて放送の指示に従ってください。各団体の指導者・引率者は、利用者の避難・誘導にご協力ください。
- ◆敷地内全面禁煙です。館内はもちろんのこと活動エリアはすべて禁煙です。ご協力のほどお願いします。
- ◆衛生管理上、宿泊部屋での飲食は厳禁とさせていただきます。
- ◆研修生入口は22：30に施錠します。それ以降の出入りはしないでください。

# 資料 ベッドメイキングと後片付け（※ホームページに動画資料がございます）

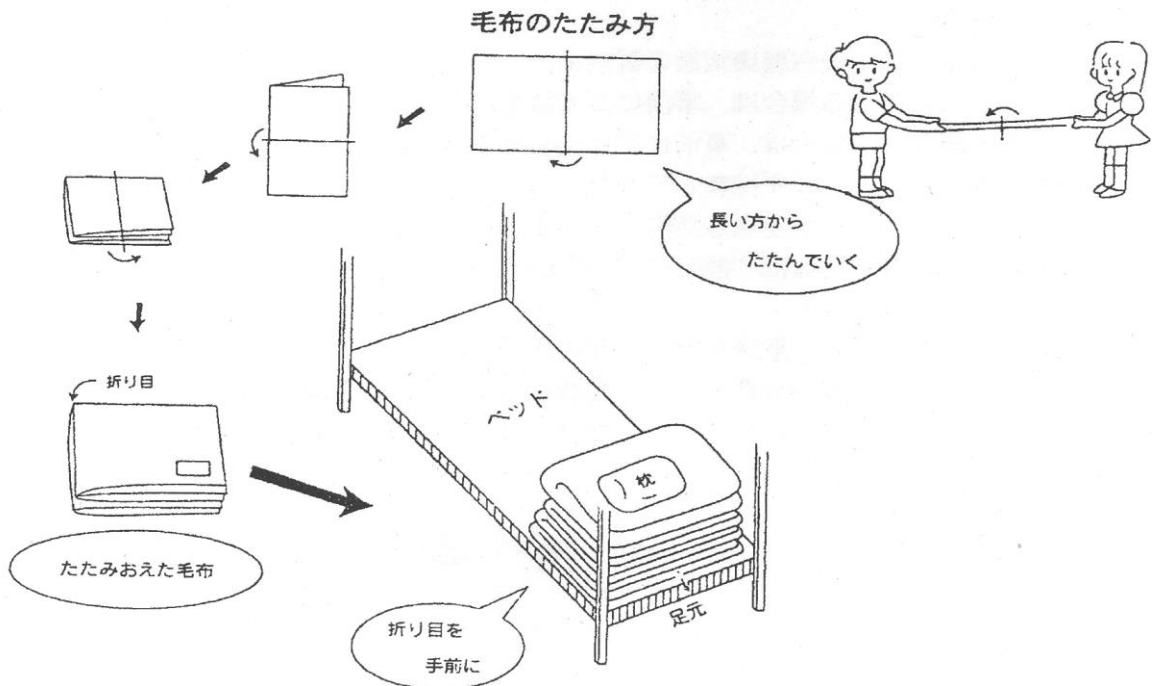
## 1 ベッドメイキング

- ①マットレスの上にベッドパットを敷く。
- ②ベッドパットの上にシーツを1枚敷き、端を折り返す。
- ③その上にもう1枚のシーツ、毛布（必要に応じて）、掛け布団（必要に応じて）を敷く。
- ④2枚目のシーツの顔があたるほうを折り返す。
- ⑤枕に枕カバーをつける。
- ⑥シーツとシーツの間に入って寝るようになる。



## 2 後片付け

- ①枕カバー、シーツ2枚を取り除く。
- ②枕カバー、シーツは部屋ごと銀色の袋に入れて返却する。
- ③掛け布団とマットレスは2回、毛布とベッドパットは長い辺を3回折りたたみ、折り目が手前になるようにして元と同じように重ねる。



# テント泊

- 1 ねらい ○野外での宿泊体験を通して日常生活の利便性について考えるとともに、自然の美しさや厳しさを感じながら自然に親しむ。  
○テントの設営や撤収などの協同作業を通して、野外生活への意欲を高めるとともに、互いに協力することの大切さに気づく。
- 2 活動場所 まつかさテントサイト（20張）  
くりの木テントサイト（20張）
- 3 所要時間 用具準備～設営まで→2時間～2時間半 撤収～用具収納まで→1時間～1時間半
- 4 対象 希望される団体全て（ただし、利用にあたってはホームページの動画資料を参考とすること。講師を派遣しての事前練習については要相談）
- 5 実際の活動

## （1）用具の準備

テント用具は以下の場所に保管してあります。「テント用具・点検カード」をご覧ください、点検・確認しながら各団体でご準備ください。

型	ドームテント（6人用）
特性	家庭用にも普及しているドーム型のテント。設営が比較的簡単で、居住性に優れている。
保管	どろんこ広場内テント倉庫
必要物品	・テント本体、フライシート（1セット） ・ポール（3本一組） ・グランドシート ・ペグ（12本） ・金づち（2本） ・銀マット（2または3枚）

## （2）設 営

- ①設営場所やその付近に、蜂の巣、鋭利な石などが無いか、安全を確認する。
- ②テントを設営する場所をできるだけ平らにし、日陰、風向きなどを考えてテントの向きを決める。
- ③テントを設営する。設営方法の詳細については次ページ以降を参照のこと。

## （3）撤 収

- ①撤収を始める前にテント入口を開放し、日光に当てるなどして湿気を取るようにする。
- ②テント内から荷物を全て出す（忘れ物がないように気をつける！）。
- ③テント内のごみを拾い、清掃する（次の人が気持ちよく使えるように！）。
- ④テントを撤収する。撤収方法の詳細については次ページ以降を参照のこと。

## （4）用具の返却

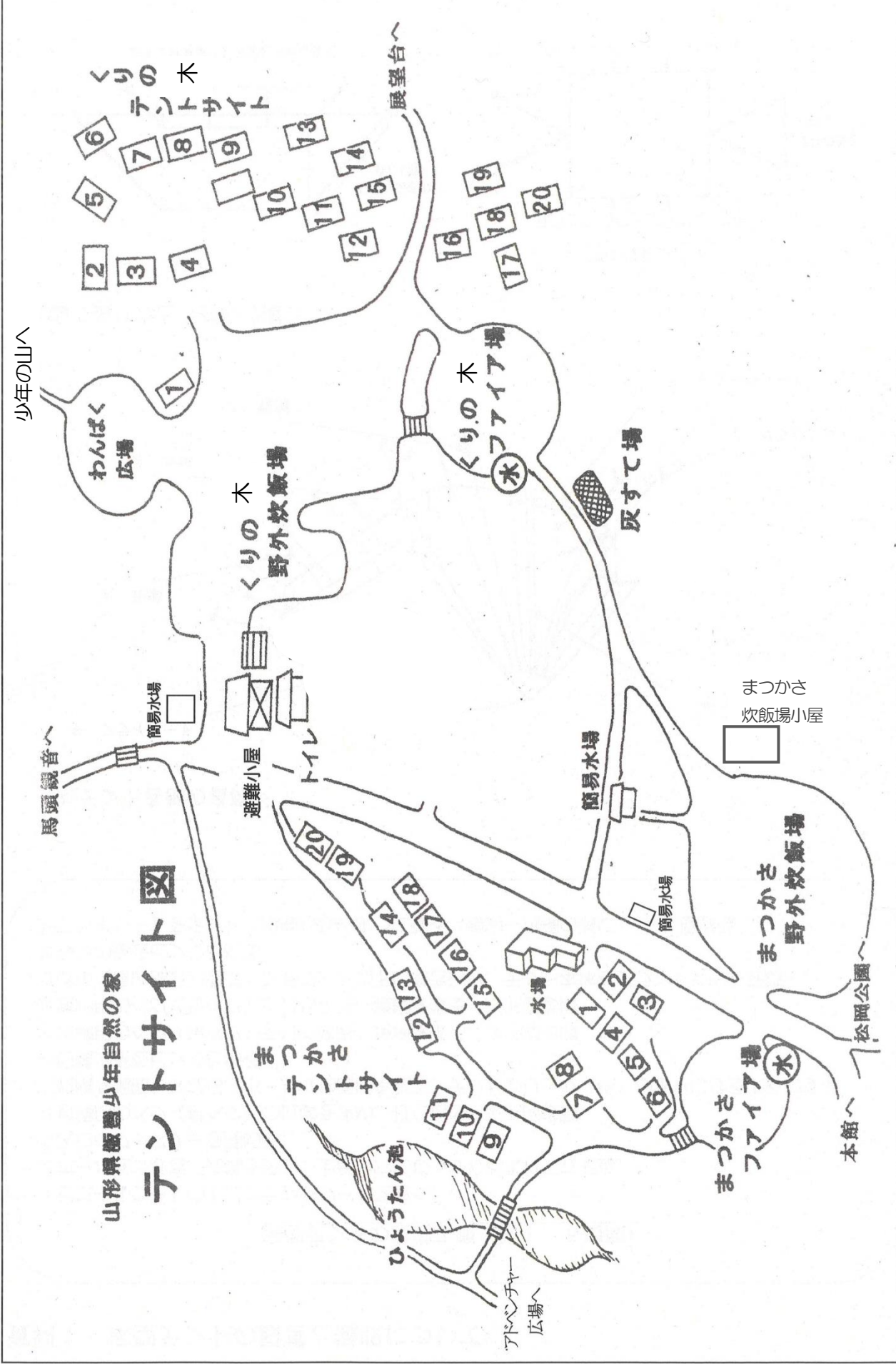
返却時にたたみ方や汚れなどを確認しますので、必ず所員をお呼びください（内線13）。汚れがひどい場合は、その後の活動を変更していただき、洗う・拭く・干すなどの活動をしていただく場合もありますのでご承知おきください。

## 6 指導上の留意点

- ◆始める前に、必ず道具がそろっていることを確認してから、テントの設営をおこなってください。
- ◆例年、テント内に忘れ物が多いようです。各団体で撤収時に再度忘れ物がないか確認してください。
- ◆破損や紛失した場合は所員に必ずお申し出ください。
- ◆テントの汚れを拭くためのぞうきんは、各団体で必ず準備してください。

山形県飯豊少年自然の家

# テントサイト図



少年の山へ

わんぱく  
広場

くりの木  
テントサイト

展望台へ

くりの木  
野外炊飯場

くりの木  
水  
ファイア場

灰すて場

馬頭観音へ

簡易水場

避難小屋

トイレ

簡易水場

まつかさ  
炊飯場小屋

水場

まつかさ  
野外炊飯場

松岡公園へ

まつかさ  
テントサイト

ひょうたん池

アトベンチャ  
広場へ

まつかさ  
ファイア場  
水

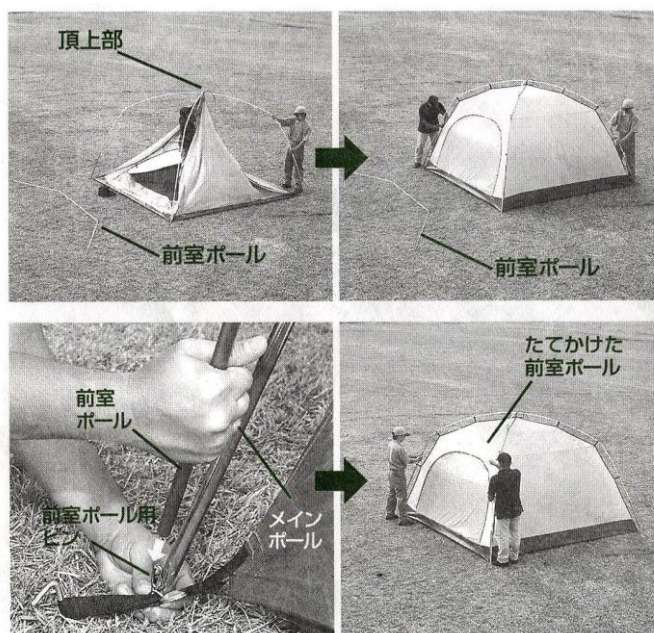
本館へ

資料【ドームテントの設営と撤収について】（ホームページに動画資料がございます）

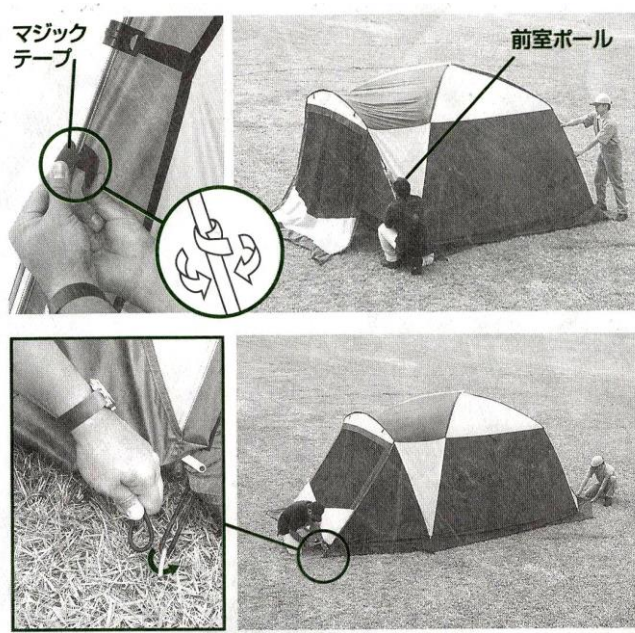
### ドームテントの設営手順（約1時間）

- ①グランドシートを敷き、テント本体を広げる。
- ②2人組で端に気をつけながらメインポールを組み立てていく。
- ③メインポール（2本）をテント上で交差し、四隅にあるピン（大）をポールに差し込む。
- ④入口のファスナーを閉め、ポールにフックをかけていく（頂上部から下のほうに）。
- ⑤入口を決め、前室ポール（下部が青いもの）にピン（小）を差し込み、たてかけておく。
- ⑥四隅のループにピンを打ち込み、テントを固定する。
- ⑦フライシートを本体にかぶせ、裾部のSフックをテント本体四隅のリングに引っ掛ける。
- ⑧フライシート内側のマジックテープをすべてポールに巻きつけて固定する。
- ⑨フライシートをペグで固定する。

テント本体にポールを固定する（手順③～⑤）



フライシートを固定する（手順⑥～⑨）

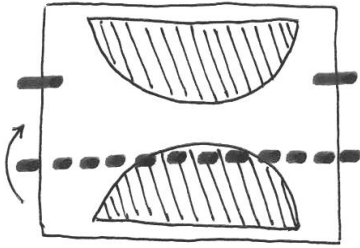


### ドームテントの撤収手順（約30分）

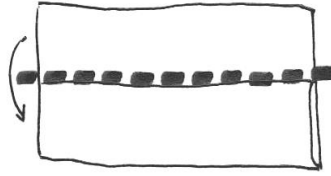
- ①設営時と逆の順にペグを抜いていく。
- ②抜いたペグは泥を落とし、数を確認してすぐに袋に入れる。けっして地面には置いておかないこと。
- ③マジックテープをはがし、フライシートをはずす。
- ④入口のファスナーを全開し、テント内のごみを出す。
- ⑤入口のファスナーは開けたまま、フックをはずす（下から頂上部のほうに）。
- ⑥2人組になってポールを両端からたたみ、収納袋に入れる。
- ⑦泥や汚れを落とし、グランドシート・テント本体・フライシートをたたむ。
- ⑧テント本体・フライシートを収納バックに入れる。

テント本体

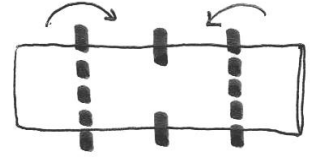
① 3等分になるようにたたむ



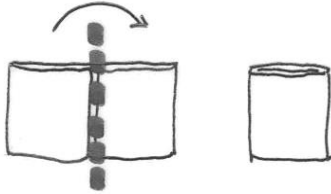
② さらにもう一度たたむ



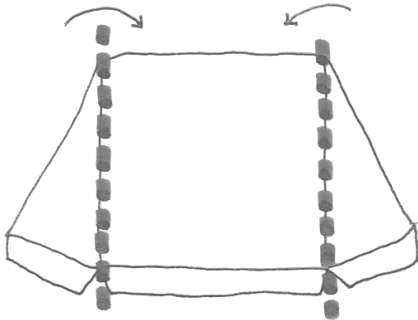
③ 両端を真ん中にたたむ



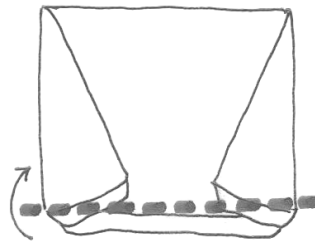
④ さらにもう一度たたむ



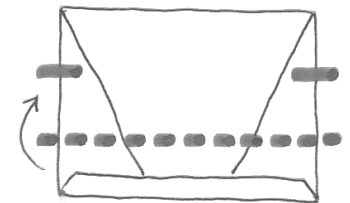
① 台形になるように広げて両端を内側にたたむ



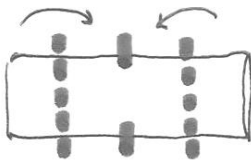
② 裾を内側にたたむ



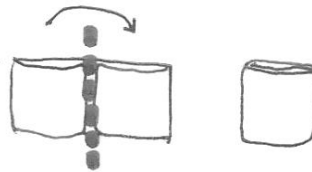
③ 3等分になるようにたたむ



④ 両端を真ん中にたたむ

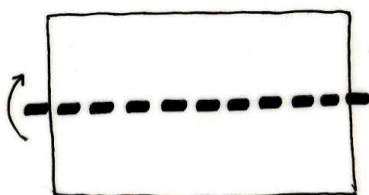


⑤ さらにもう一度たたむ

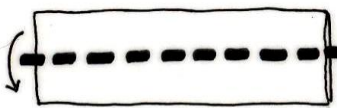


フライシート

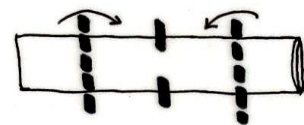
① どろやほこりをとって真ん中からたたむ



② さらにもう一度たたむ



③ テントと同じようにたたむ



グラウンドシート